## 個人質問 其の弐

いかにして民間の活力を取り入れるかが財政難の長崎市にとって必要な取り組みではないのか。中心市街地活性化基本計画はそのような中で改正されており、これこそ「長崎化」「市民力がチャレンジ」できる土台、計画と感じます。「第四次総合計画」に盛り込むよう要望しました。

**質問趣旨**

「長崎化」と「市民力チャレンジの年」と位置づけ、「個性的なまちをつくる」「みんなでまちをつくる」「暮らしやすいまちをつくる」とまちづくりを重点に、世界のどこにもない魅力的な都市を目指そうとされているが、平成一六年に改定されたまちづくり三法の整備、施行が進んでいない。平成一八年に改正された「中心市街地の活性化に関する法律」に基づいた中心市街地活性化基本計画は市民、民間団体、企業の参画によるまちづくりとなっております。「市民力チャレンジ」のまちづくりとするならば、まずその土台となる中心市街地活性化基本計画を早急に進める必要があるのではないのか。

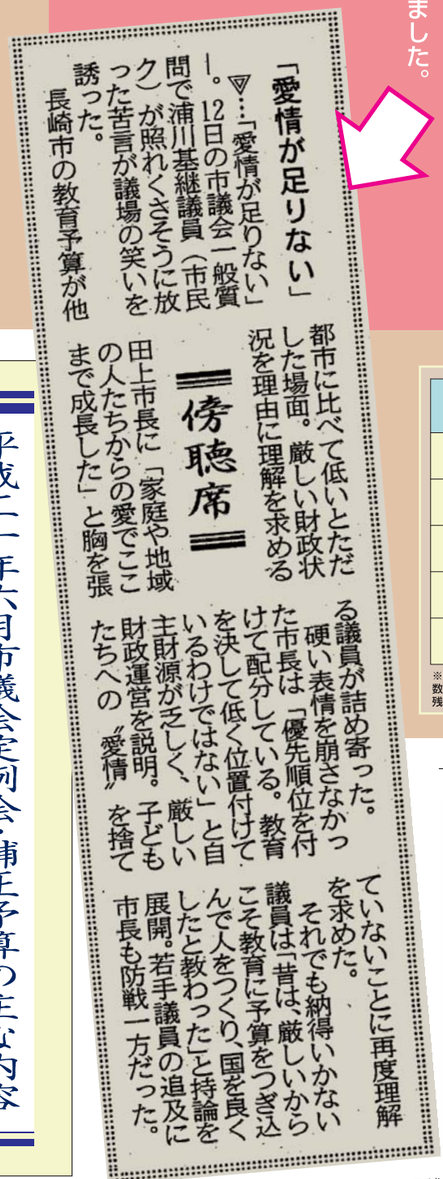
**回答**

まちづくりの主役は地域に暮らす市民であり、これを支える自治体と力を合わせて、車の両輪となって進んでいく「協働」がこれからのまちづくりの姿である。市民主体のまちづくり事業などを通じてチャレンジすることとしている。

中心市街地活性化基本計画(中活法)は基本計画に公共事業だけでなく民間事業が不可欠で、民間事業者のまちづくり会社の設立、中心市街地活性化協議会の設立が認定条件のひとつとなっており現状では申請できないが、認定に向け取り組んでいく。

## 個人質問 其の参

子育て支援策について課外クラブ補助金の拡大とインフルエンザ予防接種の補助拡大を質問しました。課外クラブの部員数はここ数年著しく減少しており、クラブの存続を含め厳しい状況が続いております。子どもの健全育成に必要なクラブ活動ではありますが、「補助金増額については、厳しい財政状況であり難しい」との答弁。しかし他都市の状況をみてもわかるように、中核市の中で教育費にかける予算は四九中核市のうち四七位となっており、耐震化の遅れも教育費に対する重要性を認識していない結果だと感じる。「国が興るのも、長崎が栄えるのも、基礎となる人を育てるために教育費の拡充が必要」と訴え、「愛のある取組」(教育費の予算拡充)を要望しました。



「愛情が足りない」

▽…「愛情が足りない」。12日の市議会一般質問で浦川基継議員(市民クク)が照れくさそうに放った苦言が議場の笑いを誘った。

長崎市の教育予算が他都市に比べて低いとただした場面。厳しい財政状況を理由に理解を求める

**傍聴席**

田上市長に「家庭や地域の人たちからの愛でここまで成長した」と胸を張る議員が詰め寄った。

硬い表情を崩さなかった市長は「優先順位を付けて配分している。教育を決して低く位置付けているわけではない」と自主財源が乏しく、厳しい財政運営を説明。

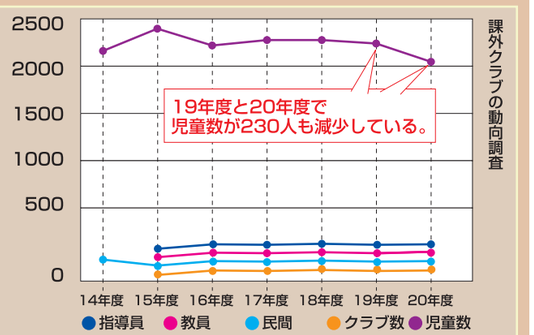
子どもたちへの〝愛情〟を捨てていないことに再度理解を求めた。

それでも納得いかない議員は「昔は、厳しいからこそ教育に予算をつぎ込んで人をつくり、国を良くしたと教わった」と持論を展開。若手議員の追及に市長も防戦一方だった。

長崎新聞六月十三日掲載

| 19年度決算 | 教育費割合 | 中核市49市 | 経常収支比率 |
|---|---|---|---|
| 長崎市 | 8.3% | 47/49 | 96.80% |
| 前橋市 | 14.9% | 2/49 | 96.90% |
| 西宮市 | 11.5% | 14/49 | 96.90% |
| 吹田市 | 12.80% | 8/49 | 96.80% |
| 中核市平均 | 11.00% | | |

※中核市:長崎市と同規模の都市　※経常収支比率:財政的に余裕があるのか、数値が低いほどよい(お小遣い100円に対して使い道が96.8円決まっていて残りの3.2円しか自由に使えない事を示している)




## 個人質問 其の参

《質問》

新大工・片淵地区をまちなか再生のモデル地区としてはどうか

**回答**

同地区においては、「市民力チャレンジ」の実践のひとつの形として、今年度実施します地区住民と行政が一緒に地区のまちづくりを考えることを目的に、市民参加型まちづくり推進事業のモデル地区にしたいと考えている。また新中川電停のバリアフリー化については早急に協議しバリアフリー化を進めるように計画しております。交通においても渋滞緩和策を検討いたします。

## 個人質問 其の弐

広域的な市町村合併を行った市では特例により、長崎市単独で「中心市宣言」を行い、方針を策定すれば離島航路、周辺道路等の環境整備、支援が可能で、田上市長が望まれる「交流人口の拡大」にも寄与できると考えます。また「特別交付税」として四、〇〇〇万円の財政支援も国(総務省)において約束されているので、第四次総合計画に「中心市宣言」を盛り込み「チャレンジの年」として取り組むよう要望しました。

**質問趣旨**

地方再生の取り組みとして中心市と周辺市町村が協定により役割分担する「定住自立圏構想」は都市機能の集約化で市街地活性化と地域公共交通活性化を図る事となっている。市長は何にチャレンジするのか明確にし、中心市としてリーダーシップを取り、早急に「中心市宣言」を行う必要があると考えます。

**回答**

中心市が地域全体のマネジメント等において中心的な役割を果たす意思を公表する「中心市宣言」を行い、人口定住のために必要な生活機能を確保するため、役割分担し、連携して行くことを明示する周辺町との「定住自立圏形成協定」を締結するとされている。合併一市圏域の場合は「定住自立圏形成方針」を定め「定住自立圏共生ビジョン」を策定するとなっている。制度の詳細まで分析しておらず、先行実施団体の状況を踏まえ、可能な取り組みを見極め、構想の推進に向け積極的に検討を進めていきたい。

## 平成二一年六月市議会定例会・補正予算の主な内容

【一】一般会計…七,六七六万円

**《総務費》**…一九,三八万円

経済センサス費…三二六万円

国の調査内容変更に伴い、調査員・指導員を増員する

《民生費》…五,九五一万円

障害者自立支援法円滑施行特別対策事業費…五,九一二万円

送迎サービスの促進及び利用者負担の軽減を図るため、通所事業所及び短期入所事業所が行う送迎サービスに要する費用を助成する

**《商工費》**…三〇〇万円

海フェスタ開催準備費負担金…三〇〇万円

平成二二年七月の「海の日」を中心に開催予定の「海フェスタ」に係る準備費負担金

**《土木費》**…▲八,三七万円

建築指導行政費…二四七万円

「長期優良住宅の普及促進に関する法律」の施行に伴う認定に係る審査の一部を外部委託するもの

**《教育費》**…三二四万円

学校評価実践研究事業費…一〇八万円

教育活動や学校運営に係る学校評価の項目や指導指標等の設定手法についての研究

豊かな体験活動推進事業費…二一六万円

子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、「農林漁村におけるふるさと生活体験推進校」において長期宿泊体験活動を実施する

【Ⅱ】特別会計…七五六万円

・介護保険事業特別会計…七五八万円

認知症対策連携強化事業費…七五八万円

地域における認知症ケア体制及び医療との連携を強化するため、地域包括支援センター一箇所への認知症連携担当者の配置や研修会を実施する

【Ⅲ】企業会計…五,七〇〇万円

病院事業会計…五,七〇〇万円

資本的支出(企業債返還金)…五,七〇〇万円

新市立病院建設事業において、用地取得費の一部を繰り越したことから、平成二〇年度に借り入れた企業債のうち借入超過分を繰上償還する

## 平成二一年度五月市議会臨時会主な内容

《第八四号議案》

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

国家公務員の期末手当及び勤勉手当の支給割合が暫定的に引き下げられるのに伴い期末手当の支給割合についても暫定的に引き下げたい。

| 区分 | | 改訂前 合計 | 改訂後 合計 |
|---|---|---|---|
| 一般職 | 行政職平均 | ¥864,210 | ¥783,557 |
| | 本市平均 | ¥878,831 | ¥796,833 |
| 特別職 | 市長 | ¥2,212,563 | ¥2,005,135 |
| | 副市長 | ¥1,900,088 | ¥1,721,954 |
| | 教育長 | ¥1,824,155 | ¥1,652,470 |
| | 常勤の監査委員 | ¥1,564,289 | ¥1,417,061 |
| | 上下水道事業管理者 | ¥1,824,155 | ¥1,652,470 |
| | 病院事業管理者 | ¥2,306,585 | ¥2,089,495 |
| 議員 | 議長 | ¥1,620,000 | ¥1,468,125 |
| | 副議長 | ¥1,479,600 | ¥1,340,887 |
| | 議員 | ¥1,360,800 | ¥1,233,225 |